

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	青少年の国際交流の推進			担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者	
事業開始年度	平成14年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	国際教育課		国際教育課長 中野 理美	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	日独青少年交流の強化についての共同発表(平成9年6月20日) 日韓共同未来プロジェクト(平成14年7月1日) 新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定) 子ども・若者ビジョン(平成22年7月23日子ども・若者育成支援推進本部) 親光立国推進基本計画(平成29年3月28日閣議決定) グローバル人材育成推進会議審議まとめ(平成24年6月4日グローバル人材育成推進会議) 今後の青少年の体験活動の推進について(平成25年1月21日中教審答申) 新たな教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)			
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	教育振興助成費			
施策	1-2 海外で学ぶ児童生徒等に対する教育機能の強化							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_1-2.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	国際化が進展する中、青少年自らが国際社会の一員であることを自覚し、自分とは異なる文化や歴史に立脚する人々と共生していくことが重要な課題となっているため、青少年に対し、国内外における異文化体験や青少年交流等の機会を充実させ、国際的な視野を養う意識を高める。							
現状・課題 (5行程度以内)	青少年の国際的な視野を養う意識を高めるためには、国内外における異文化体験や青少年交流等の機会を充実させることが必要となっているため。							
事業概要 (5行程度以内)	①青少年国際交流推進事業 国内外の青少年指導者及び次代を担う青年リーダー、高校生の海外派遣・日本招へいを行い、青少年の現状や問題点等についての意見交換や、青少年育成活動、施設等の特性を生かす研修を伴った相互交流事業を行う。 ②地域における青少年の国際交流推進事業 文化の異なる国の青少年を招へいし、概ね1週間程度の宿泊を伴う英語による共同生活を体験する機会を提供することにより、地域への愛着を持ったグローバル人材の育成や英語学習へのモチベーションの維持・向上に資する。							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/1379890.htm							
実施方法	委託・請負							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	58.2	50.7	50.7	49.1	49.1	
		補正予算(B)	▲44.6	▲8.7	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	13.6	42	50.7	49.1	49.1		
	執行額(G)		5.5	8.8	11			
	執行率(%) =(G)/(F)		40%	21%	22%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		40%	21%	22%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		教育政策推進費		-			
		(目)	教育政策推進事業委託費	43.5				46.8
		(目)	庁費	3.4				0.1
		(目)	職員旅費	1.8				1.8
		(目)	諸謝金	0.4				0.4
			その他	0.0				0.0
	計(A)		49.1	49.1				

活動内容① (アクティビティ)		国内外の青少年指導者及び次代を担う青年リーダー、高校生の海外派遣・日本招へいを行い、青少年の現状や問題点等についての意見交換や、青少年育成活動、施設等の特性を生かす研修を伴った相互交流事業を民間団体に委託し、実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		青少年及び青少年指導者に国際交流の機会を提供する	青少年及び青少年指導者に国際交流の機会を提供する事業数	活動実績	件	2	5	5	－	－
				当初見込み	件	7	7	7	7	7
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	事業参加者の意識の変化を図る指標として設定								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		「青少年の国際交流の推進」事業に参加し交流を行った日本の青少年の外向き志向の平均値の増加	「青少年国際交流推進事業」に参加し交流を行った日本の青少年の外向き志向の平均値	成果実績	%	15	1.4	0.5	－	
				目標値	%	0.1	0.1	0.1	0.1	
				達成度	%	15,000	1,400	500	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		「青少年国際交流推進事業」事業参加者アンケート								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	事業参加者から周囲への波及の状況を図る指標として設定								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		事業後、事業参加者が事業成果の発表を行った際の1人当たりの人数が60人以上を維持すること	事業後、事業参加者が事業成果の発表を行った際の1人当たり人数	成果実績	人	86.9	56.5	37.7	－	
				目標値	人	60	60	60	60	
				達成度	%	144.8	94.2	62.8	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		「青少年国際交流推進事業」事業実施報告書								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	事業参加者が研修に参加することにより身につけた知識・技能の活用を図る指標として設定								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		「これまでの学習を通じて身につけた知識・技能を地域・社会での活動に生かしている」と回答した者の割合の増加	生涯学習に関する世論調査において「これまでの学習を通じて身につけた知識・技能を地域・社会での活動に生かしている」と回答した者の割合	成果実績	%	－	－	14.8	－	
				目標値	%	－	－	－	15	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		生涯学習に関する世論調査(内閣府実施)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容② (アクティビティ)		文化の異なる国の青少年を招へいし、概ね1週間程度の宿泊を伴う英語による共同生活を体験する機会を提供する事業を、都道府県・指定都市に委託し、実施する。									
↓											
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		青少年に国際交流の機会を提供する	青少年に国際交流の機会を提供する事業数	活動実績	件	3	3	2	-	-	
				当初見込み	件	3	3	2	-	-	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	事業参加者の意識の変化を図る指標として設定									
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		「青少年の国際交流の推進」事業に参加し交流を行った日本の青少年の外向き志向の平均値の増加	「青少年国際交流推進事業」に参加し交流を行った日本の青少年の外向き志向の平均値	成果実績	%	15	1.4	4.1	-		
				目標値	%	0.1	0.1	0.1	0.1		
				達成度	%	15,000	1,400	4,070	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「青少年国際交流推進事業」事業参加者アンケート									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	事業参加者が研修に参加することにより身につけた知識・技能の活用を図る指標として設定									
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度		
		「これまでの学習を通じて身につけた知識・技能を地域・社会での活動に生かしている」と回答した者の割合の増加	生涯学習に関する世論調査において「これまでの学習を通じて身につけた知識・技能を地域・社会での活動に生かしている」と回答した者の割合	成果実績	%	-	-	14.8	-		
				目標値	%	-	-		15		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		生涯学習に関する世論調査(内閣府実施)									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									

事業所管部局による点検・改善																											
点検結果		交流を行った日本人青少年等の外向き志向の割合についておおむね目標を達成している。今後とも、当該事業が効果的に実施されるとともに、事業参加者のみならず、国内の青少年の国際性向上につながるよう、一層の工夫が必要である。 また、昨年度の行政事業レビューにおける外部有識者の所見を踏まえ、参加者アンケート項目の見直しを行っており、令和5年度実施事業から測定指標の変更を行う。 令和4年度の執行率が11%となっているが、これは新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を対面実施できず、オンラインにより実施することとなったことが要因である。 支出先を選定する際の企画競争入札においては、一者応札であった契約が4件あった。															目標年度における効果測定に関する評価（令和6年度実施）										
改善の方向性		令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響からやむを得ず実施できなかった事業や実施方法を対面からオンラインに切り替えた事業が複数あり、多額の不用額が生じているが、令和5年度については対面で実施することが決定しているため、多額の不用額は生じない見込みである。 一者応札であった企画競争入札については、随意契約事前確認公募の活用を検討することとする。																									
外部有識者の所見																											
外部有識者による点検対象外																											
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																											
事業内容の一部改善		この事業は、令和4年度決算において多額の不用額が生じていることから、不用額が生じた要因を分析したうえで、適切な予算執行に努めるべきである。																									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																											
年度内に改善を検討		令和4年度決算における不用額は新型コロナウイルス感染症の影響による渡航中止等によるものであり、令和5年度においては多額の不用額は生じない見込みである。事業の目的を踏まえた事業の着実な実施とともに、効率的かつ適正な予算執行に努める。□																									
過去に受けた指摘事項と対応状況		公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																									
		上記への対応状況																									
上記への対応状況																											
備考																											
-																											
関連する過去のレビューシートの事業番号																											
平成23年度	0331																										
平成24年度	0332																										
平成25年度	0065																										
平成26年度	0069																										
平成27年度	0067																										
平成28年度	0069																										
平成29年度	0072																										
平成30年度	74																										
令和元年度	文部科学省	-			0017																						
令和2年度	文部科学省				0017																						
令和3年度	2021	文科		20	0017																						
令和4年度	2022	文科		21	0017																						

	文部科学省 11.0百万円 学識経験者、青少年団体関係者等で構成される事業企画評価委員会を設置し、委託事業・補助事業の採決をはじめ本事業の推進方策等を検討する。 委託 【随意契約(企画競争)】 A. 青少年国際交流推進事業 4.8百万円 独立行政法人 国立青少年教育振興機構(全4件) B. 地域における青少年の 国際交流推進事業 4.1百万円 長野県等(全2件) 国際化が進展する中、青少年に広い視野とともに異文化に対する理解や異なる文化を持つ人々と強調して生きていく態度などを育成するため、国内外の青少年及び青少年指導者の国際交流を行い、共同体験を伴う異文化交流や意見交換等を通じて、自己の確立を図り、国際理解を深め、国際性を養うなど青少年の健全育成を図るための事業を実施する。 国際化が進展する中、青少年自らが国際社会の一員であることを自覚し、自分とは異なる文化や歴史に立脚する人々と共生していくことが重要な課題となっている。このため、文化の異なる国の青少年を招聘し、概ね1週間程度の宿泊を伴う英語による共同生活を体験する機会を提供することにより、地域への愛着を持ったグローバル人材の育成や英語学習へのモチベーションの維持・向上に 諸謝金 0.2百万円 職員旅費 1.7百万円 委員等旅費 0.05百万円																																																										
	資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)																																																										
	費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)																																																										
	<table><tr><th colspan="3">A.</th><th colspan="3">B.</th></tr><tr><th>費目</th><th>使途</th><th>金額 (百万円)</th><th>費目</th><th>使途</th><th>金額 (百万円)</th></tr><tr><td>雑役務費</td><td>通訳料等</td><td>1.4</td><td>雑役務費</td><td>講師料・通訳料等</td><td>2.1</td></tr><tr><td>諸謝金</td><td>講義謝金、翻訳謝金</td><td>0.3</td><td>借損料</td><td>会場借上料</td><td>0</td></tr><tr><td>借損料</td><td>会場借上料等</td><td>0.2</td><td>諸謝金</td><td>講師謝金</td><td>0</td></tr><tr><td>通信運搬費</td><td>送料</td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>印刷製本費</td><td>募集要項、事業報告書</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>旅費</td><td>国内交通費</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>2.1</td><td>計</td><td></td><td>2.1</td></tr></table>						A.			B.			費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	雑役務費	通訳料等	1.4	雑役務費	講師料・通訳料等	2.1	諸謝金	講義謝金、翻訳謝金	0.3	借損料	会場借上料	0	借損料	会場借上料等	0.2	諸謝金	講師謝金	0	通信運搬費	送料	0.1				印刷製本費	募集要項、事業報告書	0				旅費	国内交通費	0				計		2.1	計	
A.			B.																																																								
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)																																																						
雑役務費	通訳料等	1.4	雑役務費	講師料・通訳料等	2.1																																																						
諸謝金	講義謝金、翻訳謝金	0.3	借損料	会場借上料	0																																																						
借損料	会場借上料等	0.2	諸謝金	講師謝金	0																																																						
通信運搬費	送料	0.1																																																									
印刷製本費	募集要項、事業報告書	0																																																									
旅費	国内交通費	0																																																									
計		2.1	計		2.1																																																						
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック																																																						

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人国立青少年教育振興機構	8011005001124	日独青少年指導者セミナー派遣及び受入事業	2.1	随意契約(企画競争)	1	100%	－
2	独立行政法人国立青少年教育振興機構	8011005001124	日独学生青年リーダー交流事業	1.3	随意契約(企画競争)	1	100%	－
3	独立行政法人国立青少年教育振興機構	8011005001124	日独勤労青年交流事業	1	随意契約(企画競争)	1	100%	－
4	独立行政法人国立青少年教育振興機構	8011005001124	日韓高校生交流事業	0.4	随意契約(企画競争)	1	100%	－

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	長野県	1000020200000	地域における青少年国際交流推進事業	2.1	随意契約(企画競争)	2	100%	－
2	宮城県	8000020040002	地域における青少年国際交流推進事業	2	随意契約(企画競争)	2	100%	－
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		－	－	－	－		－	－	－